

武士の成長と院政



[武士の成長と院政_下载链接1](#)

著者:下向井龍彦

出版者:講談社

出版时间:2009-3-10

装帧:文庫

isbn:9784062919074

律令国家から王朝国家への転換期、勃発する武装蜂起を鎮圧する中で、戦士という職

能集団=「武士」が登場する。将門・純友の乱の実態とは?彼らを倒し中央の軍事的官職や受領を経験しながら、武家の棟梁へと成り上がる源氏と平氏。両者の拮抗を演出し、強権を揮う「院」たち。権力闘争の軍事的決着に関与し、国家権力を掌握するに至った武士こそが、中世社会を生む原動力だった。

作者介绍:

下向井龍彦（シモムカイツヒコ）

1952年生まれ。広島大学文学部卒業。同大学院修了。現在、広島大学大学院教育学研究科教授。専門は、奈良・平安時代の軍制・国制の研究、出身地呉市の地域史研究

目录: 第1章 武士以前
第2章 武士たちの英雄時代
第3章 摂関期の武士と国家軍制
第4章 武家の棟梁の形
第5章 激動の院政
第6章 武家政権に向かって
..... (收起)

[武士の成長と院政 下载链接1](#)

标签

日本平安

日本历史

评论

名作だ。これは史詩である。

[武士の成長と院政 下载链接1](#)

[武士の成長と院政_ダウンロード1](#)